

開会のことば



猪狩 淳 いがり じゅん

順天堂大学 名誉教授 / 三菱化学メディエンス 顧問

本日はご多忙中にもかかわらず、また猛暑の中、三菱化学メディエンスフォーラムに多数のご参加をいただき、厚く御礼申し上げます。世話人会を代表して、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

三菱化学メディエンスフォーラムも今回で7回目を数えるに至りました。これまでは山崎修道先生を中心に、感染症をメインに据え、話題になった感染症、関心・興味の高かった感染症をテーマに掲げてフォーラムを開催してきました。今回は過去のフォーラムと異なり、少し視点を変えて、感染症の中でも症状に重点を置き、顕著な症状、特異な症状、日常的な症状を中心に、そのような症状を示す感染症と感染症以外の疾患の鑑別診断にスポットを当ててフォーラムを構成することにしました。

そこで、第1部では、新型インフルエンザが現在もなお世界中を震撼させていることもあり、呼吸器感染症に見られる“咳”をメインテーマとしました。最初の講演では、国立病院機構東京医療センター統括診療部長の岩田敏先生に「咳と感染症を考える」と題して、咳の発症機序から、咳をきたす疾患とその鑑別診断、咳を主症状とする患者さんを診る場合の日常診療上の注意点などに言及していただきます。次の講演では、国立病院機構福岡病院統括診療部長の岡田賢司先生に「百日咳を考える」というテーマでお話しいたします。百日咳は単に小児科領域のみならず、最近では若者の間での集団感染が問題になっておりますので、日常診療に携わっておられる先生方にとって共通の重要なテーマであると考えます。

第2部ではペット感染を取り上げました。ご存知のように、近年は異常なほどのペットブームで、単に犬や猫に限らず、さまざまな種類の動物が各家庭の中に入り込んでいます。本フォーラムでも過去に“人獣共通感染症”あるいは“人畜共通感染症”を取り上げていますが、ペットからの感染症も危惧されています。そこで、司会を山崎修道先生にお願いし、みずほ台動物病院院長の兼島賢司先生に「ペットからうつる感染症」についてご講演いただきます。

今回のフォーラムが皆様にとって有意義で、興味深い内容となることを心から願っております。どうか最後の「総合討論」までお付き合いくださいますようお願い申し上げます。